

比内地鶏の情勢

平成27年5月
畜産振興課

1 飼養動向

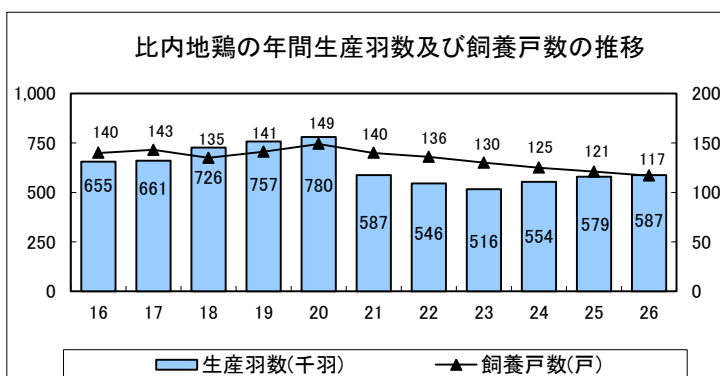
- ・飼養戸数は、平成16年以降は140戸前後で推移してきたが、近年は減少傾向にあり、26年の飼養戸数は前年比△4戸の117戸となった。
- ・なお、県北地域における飼養戸数は91戸で、全県の約80%を占めている。
- ・生産羽数は、20年秋以降の経済不況等の影響により販売数が落ち込み、減少が続いていたが、24年から増加に転じ、26年も前年比101%の587千羽で、微増となった。
- ・なお、県北地域における年間出荷羽数は525千羽で、全県の約90%を占めている。
- ・飼養戸数の減少と生産羽数の増加から、1戸当たりの平均生産羽数は、前年比105%の5,017羽と増加した。

○ 飼養動向の推移

(単位：戸、千羽、%)

年次	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
飼養戸数	140	143	135	141	149	140	136	130	125	121	117
前年比	109%	102%	94%	104%	106%	94%	97%	96%	96%	97%	97%
生産羽数	655	661	726	757	780	587	546	516	554	579	587
前年比	138%	101%	110%	104%	103%	75%	93%	95%	107%	105%	101%
一戸当たり	4,679	4,622	5,378	5,369	5,235	4,193	4,015	3,969	4,432	4,785	5,017
前年比	128%	99%	116%	100%	98%	80%	96%	99%	112%	108%	105%

(畜産振興課調べ)



○ 市町村別順位 (平成26年)

- ・生産農家数の多い市町村
①大館市(36戸)、②北秋田市(21戸)、③能代市(16戸)、④由利本荘市(6戸)
- ・生産羽数の多い市町村
①大館市(280千羽)、②北秋田市(117千羽)、③三種町(43千羽)、④能代市(32千羽)、⑤由利本荘市(30千羽)

2 流通動向

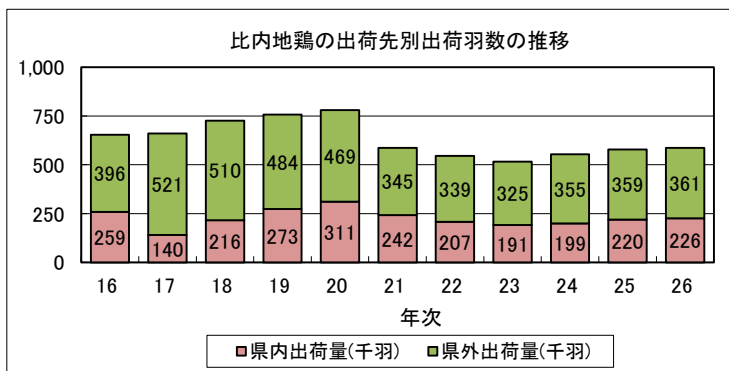
- ・26年の生産羽数は、587千羽となった。
- ・出荷先内訳は、県内向けが全体の39%の226千羽、県外向けは61%の361千羽であった。前年の大型観光キャンペーンに引き続き、国民文化祭による県内消費の拡大等を背景として、県内向けは1ポイント増加したが、県外向けは2千羽増加したものの、1ポイント減少した。

○ 流通動向の推移

(単位：千羽、%)

年次	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
生産羽数	655	661	726	757	780	587	546	516	554	579	587
前年比	101%	110%	104%	100%	78%	75%	93%	95%	107%	105%	101%
県内出荷量	259	140	216	273	311	242	207	191	199	220	226
構成割合	40%	21%	30%	36%	40%	41%	38%	37%	36%	38%	39%
県外出荷量	396	521	510	484	469	345	339	325	355	359	361
構成割合	60%	79%	70%	64%	60%	59%	62%	63%	64%	62%	61%

(畜産振興課調べ)



○ 出荷先別割合 (平成26年)

